

地域おこし協力隊が行く! — Vol.78



中標津町地域おこし協力隊
レティルエン



中標津町
国際交流

Xin chào (シン チャオ)！こんにちは！今月中標津に来て2年半が経つ、地域おこし協力隊のルエンです。早いもので3回目の冬を迎えようとしています。北海道の寒さにまだ慣れることができず、今のうちから冬に必要な物を備えています。

だんだん寒さが厳しくなってきますので、少しでも温かく感じるために今年の夏を振り返ってみたいと思います。今年の夏は半袖を着る日が多かったですね。暑い日々でしたが、みなさんはどのように過ごしていたのでしょうか？私は色々なお祭りを見に行ってきました。まず、神社祭のお神輿に感激し、なかしべつ夏祭りでは、浴衣を着て、音頭踊りに参加しました。ほかに、中標津町のお祭りだけでなく、イベントに無料で行けるバスを使って、周辺の町のお祭りも見に行きました。こうしたお祭りは地域の文化体験や地元の方々と交流ができて、私にとって貴重な機会となりました。

さて、7月には日本の食文化を体験するそば打ち体験、9月には外国の食文化を体験するミャンマー料理教室を開催しました。そば打ち体験では、「水回し、こねる、伸ばし、切る、茹でる」の行程を、講師の方に丁寧に教えていただきながら、みんなでそばを作りました。

ミャンマー料理教室ではミャンマー出身の留学生に講師をしていただき、料理を作り始める前に、参加者のみなさんとミャンマーについて理解を深めるため、ミャンマーの文化「ツナッカー」（お化粧のようなもの）、ミャンマーのお正月の水祭り、食事のマナー」などを紹介してもらいました。

どちらのイベントも講師にご指導をいただき、みんなで協力しながら料理を作り、完成した後は、みんなで食事をしながらお互いの国のことなどについて会話を楽しみました。

日本に来てから、日本の文化はもちろん、ほかの国の文化を体験できる機会も増えて、教養が深まりました。これからも、たくさんの方と交流して、自分の見聞を広めて行きたいと思っています。

各交流会の様子は「中標津町国際交流」のFaceBookで発信していますので、ご覧ください。

